

三方郡美浜町坂尻海岸植物採集記

昭和33年8月7日から9日まで三方郡美浜町坂尻を根拠地にして博物館の綜合採集会が催された。植物班は第1日を坂尻附近の海岸植物調査を行った。

この調査で特に注目すべきことは、モクゲンジ、ヒトモトススキ、ナミキソウの分布することである。モクゲンジは、高浜、立石半島、鮎川等に知られているものであり、ヒトモトススキは三方湖畔、立石半島、大島で見られるもので、何れも本県が北限とされているものである。ナミキソウは日本各地の沿岸地方にあるとされているが、本県では高浜その他2~3ヶ所にしか知らないものである。なお、オニユリとコオニユリが共に見られ、前者には珠芽があるが、後者にはこれがなく、代りに鱗茎から匐枝を出して盛んに増殖するさまが見られ、面白かった。

主な採集品は次の如くである。

○ 坂尻東方の松原海岸（砂浜）

モクゲンジ、ノラニンジン、オニユリ、コオニユリ、トゲソバ、ガガイモ、ニショモギ、ハマボツス、ハマニガナ、スナビキソウ、ハマゼリ、タイトゴメ、スズメノチャヒキ（枯）、ハマボウフウ、ウンラン、ハマスゲ、タチカタバミ、ナミキソウ、コニシキソウ、アキカラマツ、ミズギボウシ、カワラナデシコ、ナルコビエ、コイケマ、センニンソウ、アオツヅラフジ、ヤブラン、ナワシロイチゴ、コマツナギ、カワラサイコ、ワカサハマギク、ヒオオギ、ハマエンドウ、ハマニンニク、ヤマカモジグサ、

○ 坂尻西方の海岸（岩浜）

イノデ、ヤブツバキ、タブノキ、オニヤブソテツ、カラスザンショウ、バイカウツギ、アカメガシワ、ヤブニツケイ、タラノキ、シロヨメナ、ハマハタザオ、オニヤブマオ、ホツコクアザミ、アマチャズル、オトギリソウ、アメリカセンダングサ、オオイヌタデ、アカバナ、ハマアカザ、メダラ、ゴキズレ、マユミ、ツルウメモドキ、ダンドボロギク、オオアレチノギク、ウナギツカミ、コウゾ、ヨシ、ウキヤガラ、トウオオバコ、アマズル、シャシヤンボ、ハゼノキ、テリハノイバラ、イワガサ、ハマツメクサ、ネコハギ、フシグロ、ツリガネニンジン、ハリギリ、マルバグミ、ヒメクグ、イソヤマテンツキ、メドハギ、ヒトモトススキ、エノキ、アミガサソウ、ワカサハマギク、ヤブツルアズキ、ヒエガエリ

(寒蝉義一記)